

「再興第110回院展 名古屋展」に本校生徒の作品が展示されました

令和7年11月29日(土)

11月22日(土)から11月30日(日)まで名古屋栄にある松坂屋名古屋店南館8階エントランスで、本校附属中学校生と高校生の作品が展示されました(参照URL:本校HP [25-20250919.pdf](#) 2025年9月19日(金)付け「岩絵具と膠(にかわ)で日本画を描こう」ワークショップ)。

また、これに合わせて、日本美術院による「鑑賞会」が開催されました。

当日は、川手校長先生を始め、作品を作った本校生徒と保護者が参加しました。「鑑賞会」では本校ワークショップの講師であり院展作家の山口貴士様が、ファシリテーターとして作品や展示について解説されました。

今回の鑑賞会では、エントランスに、キヤノン先進のデジタルイメージング技術を活用し複製された「津島祭礼図屏風」(※1)も展示されていました。津島の天王祭を描いた江戸時代の「津島祭礼図屏風」について、高細密複製画の前で説明をしていただきました。屏風の構造について、複製画制作の工程、さらに描かれた時代の読み解き方、文化財としての価値、津島地域との関わりについてまで、幅広くご説明いただきました。津島ゆかりの文化財がこの地域に存在することを、ここで学ぶ生徒たちへ伝えていく意義を感じ、大変充実した時間となりました。(※1)本物はイギリス大英博物館に所蔵されています。

また、対話型の鑑賞会では、大きな作品を目の前にしながら「自分はどう感じるのか」「何を読み取るのか」を考える時間がありました。答えを求められるものではなく、感じたことそのものが価値になるという鑑賞の面白さを、子どもたちは体験できたのだと思います。

国際バカロレア認定校を目指している本校にとって、Art(音楽、美術)分野はさらに充実させていく分野のひとつです。今回の取組がさらなる探究的な取組につながっていくことを今後もめざしてまいります。

最後になりますが、さまざまな方のお力をお借りして今回の取組を行うことができました。津島高等学校・附属中学校では、「芸術の秋」にふさわしい取組を次年度以降も企画してまいります。ご期待ください。



愛知県におきましても、令和元年より日本美術院所属作家による巡回授業という形態で活動をしております。今回展示してある作品は下記実施内容にて制作された作品になります。ご参加いただき誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

日時	実施地/テーマ	会場	参加人数
2025/9/19	愛知県立津島高等学校・附属中学校 「岩絵具と膠(にかわ)で日本画を描こう」	山口1年生 川手1年生	79名 99名

地域巡回教育プログラムの一環として山口授業を実施しており
今回の展示は下記のような内容で制作された作品となります。
津島天王祭の音を想像してお楽しみいただければ幸いです
山口貴士先生の講義と質疑応答

実施内容 「岩絵具で描こう 展示人山口山口貴士先生」

対象 愛知県立津島高等学校1年生、附属中学校1年生

目的 日本画の世界に触れ、みんなで創作できる。

内容 山口先生による津島天王祭の歴史と文化を紹介する。

山口先生の山口貴士先生から教わな気づき得て、参加性を發揮する心が学ぶ。



実施内容 「津島天王祭の音」

対象 愛知県立津島高等学校1年生、附属中学校1年生

目的 山口先生による津島天王祭の歴史と文化を紹介する。

内容 山口先生の山口貴士先生から教わな気づき得て、参加性を發揮する心が学ぶ。



愛知県立津島高等学校・附属中学校 教頭 金澤 学
美術 則武 由絵